

## 出前講座「東広島の大地 八本松町地域の地形と地質」

沖村雄二

平成 26 年 7 月 15 日、八本松中学校（総合学習）で「出張講義」を行った。4 コースに分かれて受講した総合学習を主材にした新聞を編集する目的もあって、この授業は 1 年生 40 人が、非常に熱心に受講。東広島全体の地形と地質を扱ったポスター 6 枚、分布する岩石と化石（50 標本）を展示、スライドを使って八本松地域のボーリング資料による地下地質の解析などを熱心にメモしていましたから、できあがる新聞が楽しみです（写真は授業の様子）。豊栄町安宿で採取された水晶の群晶標本、重さが約 20kg で、針の山状の大きな標本（広島大学総合博物館に寄託されている）に見入っていました。

